

多文化便りハ号

なんとか
発行中

多文化マーケット実行委員の報告

私は多文化マーケットで東南アジア・南アジアのブースを担当しました。当日までの準備として、ポラカードや紙粘土で展示物を作成し、配置の確認などを行いました。実物をできるだけ再現するために、こういったものを使い、どのような配置をしたら良いのかを考えることに苦勞しました。また時間や人手不足に問題があり、その中で作業を進めることも大変でした。

今回、私が実行委員をして多くのことを学びましたが、特に感じたことは情報の共有の大切さです。先生方や代表者にはかわかっていないことが多くありました。そのため、当日の作業にも支障を来たすことがありました。来年、アジア祭に多文化コミュニケーション学科として参加する場合には、学生間で話し合う機会を増やし、それぞれの担当を早め

嶋田絵里香

私が主に担当した地域は、東南アジア・南アジアのブースです。来客者にインドネシアやインドの雑貨、果物について説明したり、記念撮影をしたりしました。今回、実行委員として参加して、人を集めることは本当に大変だと感じました。とにかく人手が不足し、一人一人にかかる負担が大きくなってしまいました。特に地域毎のブースに担当の人をお願

するは大変な仕事でした。アジア祭の3日間は、多文化マーケットが何のための展示なのかを説明することに難しさを感じました。そして、何よりも大事なことは、来た人に楽しんでもらうことだと実感しました。来年は、各地域の民族衣装を着た展示の解説者がいればもっとインパクトがあり、面白くなるのではないかと思います。今回は時間が足りなくて、準備不足のところが多かったです。来年はもっと早めに準備を始め、余裕を持ってアジア祭当日を迎えられるといいと思います。多文化マーケットに協力してくれた方も見に来てくれた方にも、心から感謝申し上げます。

高松里奈



韓国展示ブース 自慢のトウガラシ・カーテン！



東南アジア展示ブース 自慢のフルーツ・ピラミッド！

私は今回、全体のシフトの作成、韓国のブースを主に担当しました。多文化マーケット自体初めての試みで、最初は何をすればいいかわからず不安でいっぱいでした。シフトを作成するために、全学年の皆さんに連絡を取るのが大変でした。どの対応に追われました。また、韓国のブースは他の地域と比べて、当初から人が足りなかったため、展示品作りや展示のレイアウトなど、様々な面で遅れており、1日の夕方になってもどうなるか不安でした。それでも、多文化コミュニケーション学科の皆さんに協力してもらい、なんとか3日間やり遂げることができました。多文化マーケット実行委員を通して、一人では何もできない、皆さんの協力があったからこそ、アジア祭だったと痛感しました。今後、多文化マーケットのような企画が続くのであれば、事前にしっかりと準備することが重要であるとお伝えしたいと思います。アジア祭は学生主体のイベントなので、問題が起こった場合には学生同士で話し合っ

徳山裕紀

多文化マーケットに参加していただき、ありがとうございました。多文化マーケットを担当しました。私は、韓国ブースの展示と多文化広場のイベントを担当しました。

多文化広場では、2日と3日に、亜細亜大学の留学生に自国の言葉や文化を紹介してもらうイベントを行いました。最初に多文化コミュニケーション学科の留学生に呼びかけ、それから留学生別の先生にお願いして、別科の留学生を紹介してもらいました。それから、多文化広場への出席を引受けしてくれた留学生たちに何日の何時に来てもえるかを確認する作業を行いました。そのときに、幾度かミスをお犯しました。留学生を紹介してくれた先生方と留学生、実行委員との間の連絡が十分に行き届かず、同じ時間に別の留学生に担当をお願いしてしまいました。「報・連・相」とはこういう事態を避けるために必要なものだと実感しました。展示の準備が不十分だったため、アジア祭初日も準備が終わりませんでした。今後は、準備をスムーズに進めるために、学年ごとに実行委員を置いたほうがよいのではないかと思います。多文化マーケットなどの企画を多文化コミュニケーション学科の伝統として、これからも様々なアイディアを持ち寄って続けていきたいと思います。

松井美樹

編集担当 熊患須